

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(令和6年2月分【埋立中共通調査①】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく令和6年2月(大気質、水質)の事後調査の概要は表-1に、調査地点の位置は図-1に示すとおりである。

表-1(1) 事後調査の概要 (埋立地周辺における調査 大気質)

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	2月1日～29日	通年連続

表-1(2) 事後調査の概要 (埋立地周辺における調査 水質 (一般項目))

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	2月1日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質量(SS) クロロフィルa			

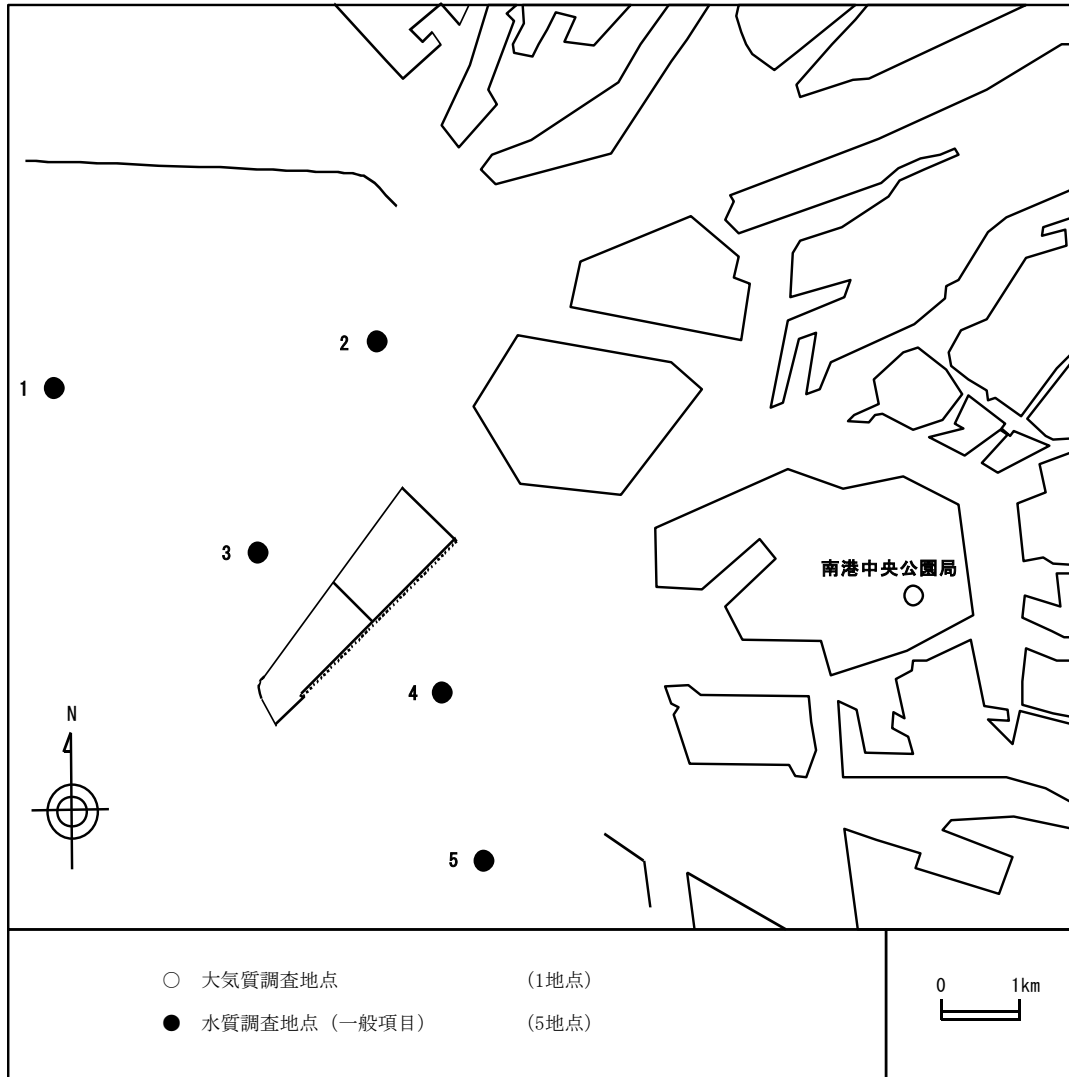
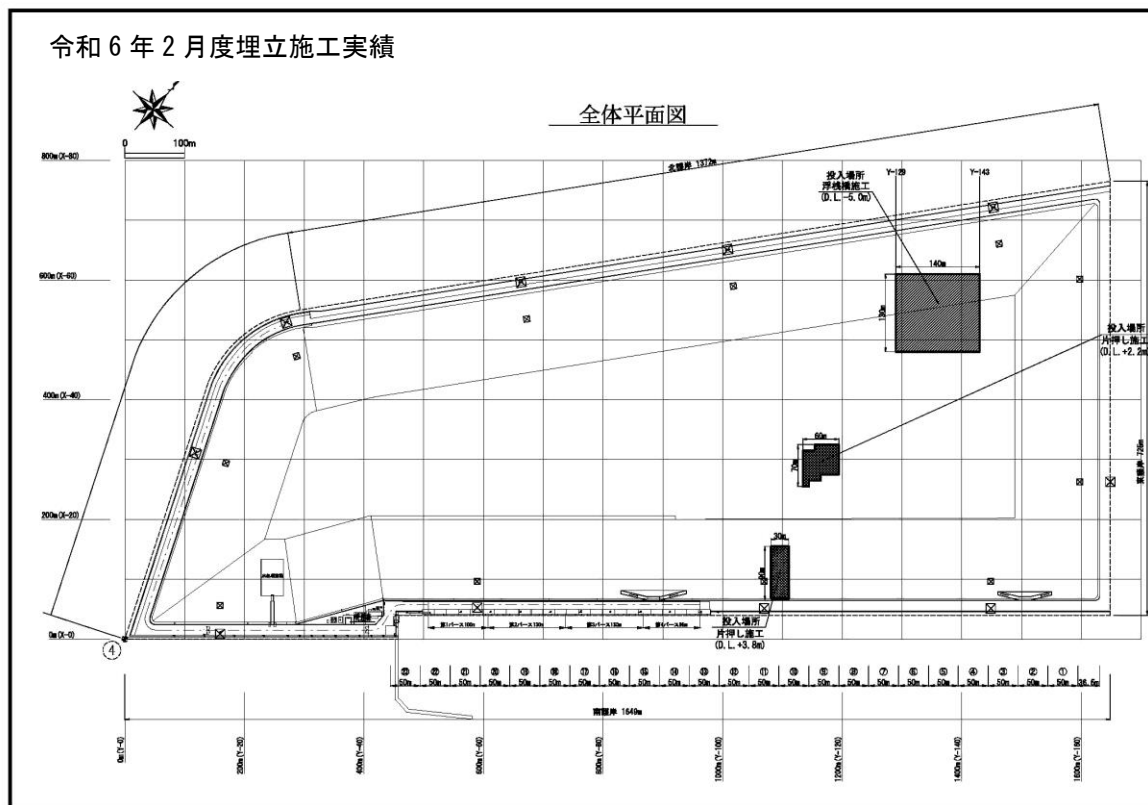


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

2. 工事の実施状況

令和6年2月の工事の実施状況は、図-2に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
7,531,350	53.9

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04ppm 以下、1時間値 0.1ppm 以下】

二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.004ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.008ppm、1時間値の最高値は 0.014ppm であり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.023ppm であった。また、日平均値の最高値は 0.054ppm であり、環境基準値の範囲内であった。なお、日平均値 0.04～0.06ppm のゾーン内の基準適合が 3 日あった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値 0.20mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.011mg/m³ であった。また、日平均値の最高値は 0.034mg/m³、1時間値の最高値は 0.063mg/m³ であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8 以上 8.3 以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層でいずれも 8.1、下層で 8.1～8.2 の範囲にあり、全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L 以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で 1.9～3.3mg/L、下層で 1.3～2.2mg/L の範囲にあり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (3.3mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果（平成 12 年度）は上層で 1.6～4.9mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L 以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で 9.4～10mg/L、下層で 7.9～9.1mg/L の範囲にあり、全ての調査地点において環境基準値を上回っていた。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg /L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.34~0.56mg/L、下層で 0.23~0.24mg/L の範囲にあり、全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.042~0.058mg/L、下層で 0.039~0.049mg/L の範囲にあり、上層では一部の調査地点において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層の調査地点 1 (0.057mg/L) 及び調査地点 2 (0.058mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L であり、いずれもこの範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で報告下限値未満 (<1 度) (カリン)~1 度(カリン)、下層でいずれも 1 度(カリン)であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 2~4mg/L、下層で 3~4mg/L の範囲にあった。

8) クロロフィル a

クロロフィル a は上層で 2.6~4.6µg/L、下層で 1.6~4.7µg/L の範囲にあった。

《 参 考 》

■環境基準等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでの ゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上 8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。
なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	—
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	—
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m：環境基準値を満たしていないデータ数、n：総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表 [令和6年2月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	29
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	692
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	29
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	3
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	693
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	29
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	693
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注: 大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果〔令和6年2月分〕

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (木)	0.004	0.005
	2 (金)	0.004	0.004
	3 (土)	0.004	0.004
	4 (日)	0.004	0.004
	5 (月)	0.004	0.004
	6 (火)	0.004	0.006
	7 (水)	0.005	0.007
	8 (木)	0.004	0.006
	9 (金)	0.005	0.006
	10 (土)	0.005	0.008
別	11 (日)	0.004	0.005
	12 (月)	0.004	0.006
	13 (火)	0.005	0.008
	14 (水)	0.008	0.014
	15 (木)	0.006	0.010
	16 (金)	0.004	0.005
	17 (土)	0.005	0.007
	18 (日)	0.006	0.008
	19 (月)	0.005	0.007
	20 (火)	0.005	0.008
値	21 (水)	0.004	0.005
	22 (木)	0.004	0.004
	23 (金)	0.003	0.004
	24 (土)	0.004	0.004
	25 (日)	0.003	0.004
	26 (月)	0.004	0.004
	27 (火)	0.004	0.004
	28 (水)	0.004	0.005
	29 (木)	0.004	0.007
有効測定日数 (日)		29	
測定時間 (時間)		692	
月平均値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.008	
1時間値の最高値 (ppm)		0.014	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [令和6年2月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (木)	0.014	0.087
	2 (金)	0.004	0.011
	3 (土)	0.002	0.008
	4 (日)	0.001	0.007
	5 (月)	0.007	0.023
	6 (火)	0.004	0.009
	7 (水)	0.031	0.207
	8 (木)	0.015	0.160
	9 (金)	0.009	0.035
	10 (土)	0.018	0.072
別	11 (日)	0.001	0.007
	12 (月)	0.001	0.003
	13 (火)	0.035	0.107
	14 (水)	0.061	0.210
	15 (木)	0.037	0.125
	16 (金)	0.003	0.009
	17 (土)	0.014	0.050
	18 (日)	0.010	0.034
	19 (月)	0.065	0.157
	20 (火)	0.012	0.054
値	21 (水)	0.015	0.040
	22 (木)	0.004	0.010
	23 (金)	0.001	0.004
	24 (土)	0.002	0.007
	25 (日)	0.001	0.002
	26 (月)	0.003	0.010
	27 (火)	0.003	0.009
	28 (水)	0.002	0.006
	29 (木)	0.010	0.030
有効測定日数 (日)		29	
測定時間 (時間)		693	
月平均値 (ppm)		0.013	
日平均値の最高値 (ppm)		0.065	
1時間値の最高値 (ppm)		0.21	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果〔令和6年2月分〕

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値 (ppm)	1時間値の最高値 (ppm)
日	1 (木)	0.024	0.043
	2 (金)	0.016	0.030
	3 (土)	0.013	0.033
	4 (日)	0.009	0.022
	5 (月)	0.023	0.039
	6 (火)	0.018	0.032
	7 (水)	0.029	0.055
	8 (木)	0.026	0.051
	9 (金)	0.029	0.046
	10 (土)	0.026	0.048
別	11 (日)	0.011	0.028
	12 (月)	0.013	0.039
	13 (火)	0.041	0.062
	14 (水)	0.054	0.072
	15 (木)	0.039	0.061
	16 (金)	0.016	0.025
	17 (土)	0.031	0.054
	18 (日)	0.033	0.052
	19 (月)	0.044	0.056
	20 (火)	0.022	0.035
値	21 (水)	0.023	0.037
	22 (木)	0.016	0.030
	23 (金)	0.011	0.022
	24 (土)	0.011	0.023
	25 (日)	0.009	0.016
	26 (月)	0.015	0.029
	27 (火)	0.013	0.019
	28 (水)	0.013	0.025
	29 (木)	0.027	0.045
有 効 測 定 日 数 (日)		29	
測 定 時 間 (時間)		693	
月 平 均 値 (ppm)		0.023	
日平均値の最高値 (ppm)		0.054	
1時間値の最高値 (ppm)		0.072	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		3	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [令和6年2月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日 別 値	1 (木)	0.038	63.8	0.130
	2 (金)	0.019	79.9	0.039
	3 (土)	0.015	86.8	0.040
	4 (日)	0.011	86.4	0.026
	5 (月)	0.029	77.1	0.060
	6 (火)	0.023	81.4	0.041
	7 (水)	0.060	48.9	0.262
	8 (木)	0.041	63.2	0.211
	9 (金)	0.038	77.3	0.081
	10 (土)	0.043	59.2	0.120
	11 (日)	0.012	90.6	0.032
	12 (月)	0.014	93.2	0.041
	13 (火)	0.076	53.5	0.156
	14 (水)	0.115	47.3	0.269
	15 (木)	0.076	51.7	0.180
	16 (金)	0.019	82.9	0.034
	17 (土)	0.046	68.6	0.102
	18 (日)	0.043	75.9	0.072
	19 (月)	0.109	40.5	0.206
	20 (火)	0.035	64.1	0.087
	21 (水)	0.038	60.2	0.077
	22 (木)	0.019	81.7	0.040
	23 (金)	0.012	91.7	0.025
	24 (土)	0.013	85.8	0.029
	25 (日)	0.010	90.0	0.016
	26 (月)	0.018	80.9	0.039
	27 (火)	0.016	81.0	0.028
	28 (水)	0.016	85.0	0.029
	29 (木)	0.037	71.9	0.074
有効測定日数 (日)		29		
測定時間 (時間)		693		
月平均値 (ppm)		0.036		
日平均値の最高値 (ppm)		0.115		
1時間値の最高値 (ppm)		0.269		
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		62.9		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂) の算定方法は、下記のとおりである。

日(月)平均値NO₂ / (NO+NO₂) =

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [令和6年2月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(mg/m ³)	1時間値の最高値(mg/m ³)
日	1 (木)	0.014	0.027
	2 (金)	0.008	0.012
	3 (土)	0.006	0.008
	4 (日)	0.005	0.009
	5 (月)	0.005	0.015
	6 (火)	0.004	0.007
	7 (水)	0.009	0.021
	8 (木)	0.008	0.013
	9 (金)	0.008	0.015
	10 (土)	0.015	0.032
別	11 (日)	0.019	0.028
	12 (月)	0.014	0.028
	13 (火)	0.019	0.036
	14 (水)	0.034	0.053
	15 (木)	0.022	0.047
	16 (金)	0.005	0.010
	17 (土)	0.011	0.018
	18 (日)	0.013	0.021
	19 (月)	0.023	0.063
	20 (火)	0.014	0.037
値	21 (水)	0.007	0.014
	22 (木)	0.004	0.007
	23 (金)	0.005	0.008
	24 (土)	0.005	0.007
	25 (日)	0.006	0.009
	26 (月)	0.003	0.009
	27 (火)	0.008	0.011
	28 (水)	0.007	0.011
	29 (木)	0.012	0.026
有効測定日数 (日)		29	
測定時間 (時間)		693	
月平均値 (mg/m ³)		0.011	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.034	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.063	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）〔令和6年2月分〕

測 定 局		南港中央公園				
項 目		風 速			最 多 風 向 16方位	
		平均 風速 (m/s)	最大風速			
			風速 (m/s)	風 向 16方位		
日	1 (木)	—	—	—	—	
	2 (金)	—	—	—	—	
	3 (土)	—	—	—	—	
	4 (日)	—	—	—	—	
	5 (月)	—	—	—	—	
別	6 (火)	—	—	—	—	
	7 (水)	(1.3)	(1.9)	(NNE)	(NNE)	
	8 (木)	0.9	1.9	NW	NW	
	9 (金)	1.0	2.1	WNW	WNW	
	10 (土)	1.4	5.0	W	W	
	11 (日)	1.7	3.8	WNW	WNW	
	12 (月)	2.1	3.8	WNW	WNW	
	13 (火)	0.9	3.0	WNW	WNW	
	14 (水)	0.7	1.8	W	WSW	
	15 (木)	1.2	4.9	WNW	SW	
	値	16 (金)	1.8	2.9	NW, NNE	NNE
		17 (土)	0.9	2.4	WNW	N
		18 (日)	0.7	1.9	WSW	WSW
		19 (月)	0.9	1.3	NNE, NE	NE
		20 (火)	1.6	3.5	NNE	NNE
21 (水)		1.6	2.3	NNE, ENE	NNE	
22 (木)		1.7	2.6	NNE	NNE	
23 (金)		1.0	1.9	NW	NW	
24 (土)		1.6	2.7	NNE	NNE	
25 (日)		1.7	3.0	NNE	NE	
26 (月)		1.8	3.3	NNE	NW	
27 (火)		1.9	3.1	NW	NW	
28 (水)		1.4	2.7	NNE	NW	
29 (木)		1.7	3.6	NE	NE	
測 定 時 間 (時間)		538				
月 平 均 風 速 (m/s)		1.4				
月 最 大 風 速 (m/s)		5.0				
月 最 多 風 向 (16方位)		NNE				

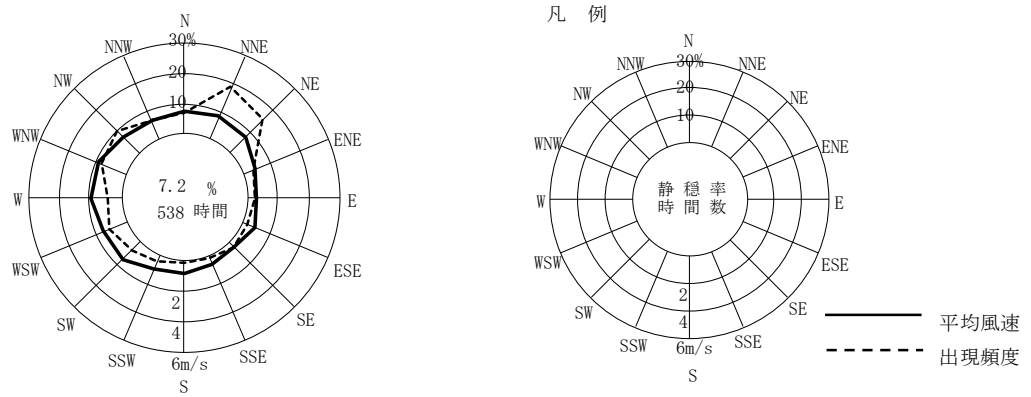
注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。
 3. 2月6日までは機器更新のため欠測となっている。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [令和6年2月分]

方位 項目	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定 時間数
度数	99	84	20	14	11	11	4	2	10	18	31	22	45	55	35	38	39	538
頻度 (%)	18.4	15.6	3.7	2.6	2.0	2.0	0.7	0.4	1.9	3.3	5.8	4.1	8.4	10.2	6.5	7.1	7.2	-
平均風速 (m/s)	1.6	1.5	0.9	0.6	0.9	0.5	0.6	0.8	0.9	1.5	1.5	1.9	1.9	1.4	1.3	1.5	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [令和6年2月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）〔令和6年2月分〕

調査日：令和6年2月1日

項目	調査点	1	2	3	4	5	最小値 ~ 最大値		平均値
	時刻		8:38	8:10	8:30	9:11	9:26	-	
透明度 [m]		3.0	3.3	5.8	3.8	5.2	3.0	~ 5.8	4.2
水温 [°C]		10.5	10.4	10.4	10.6	10.4	10.4	~ 10.6	10.5
		10.7	10.9	10.8	10.7	10.8	10.7	~ 10.9	10.8
塩分 [-]		29.9	28.6	30.9	29.9	30.6	28.6	~ 30.9	30.0
		32.3	32.2	32.3	32.3	32.4	32.2	~ 32.4	32.3
濁度 [度(カリン)]		1	1	<1	1	<1	<1	~ 1	1
		1	1	1	1	1	1	~ 1	1
浮遊物質 (SS) [mg/L]		3	4	4	4	2	2	~ 4	3
		3	4	3	4	3	3	~ 4	3
水素イオン濃度 (pH) [-]		8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	8.1	~ 8.1	-
		8.1	8.1	8.2	8.1	8.1	8.1	~ 8.2	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]		3.3	2.5	1.9	2.0	2.1	1.9	~ 3.3	2.4
		2.2	1.6	1.7	1.6	1.3	1.3	~ 2.2	1.7
溶存酸素量 (DO)	濃度 [mg/L]	9.8	10	9.8	9.4	10	9.4	~ 10	9.8
	飽和度 [%]	106	107	107	102	109	102	~ 109	106
全窒素 (T-N) [mg/L]		0.56	0.54	0.34	0.43	0.37	0.34	~ 0.56	0.45
		0.23	0.23	0.24	0.23	0.24	0.23	~ 0.24	0.23
全磷 (T-P) [mg/L]		0.057	0.058	0.042	0.049	0.048	0.042	~ 0.058	0.051
		0.049	0.048	0.040	0.042	0.039	0.039	~ 0.049	0.044
クロロフィル a (chl. a) [μg/L]		4.6	3.1	4.2	2.6	4.6	2.6	~ 4.6	3.8
		4.0	2.7	4.7	2.0	1.6	1.6	~ 4.7	3.0

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項
